

平成 28 年 10 月 7 日

第 15 回日本鉄道賞 日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞 「安心インバウンド対応」特別賞 受賞決定！

— 携帯型放送装置による車内放送の多言語対応 —

近鉄の携帯型放送装置による車内放送の多言語対応への取り組みが、第 15 回日本鉄道賞において日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞「『安心インバウンド対応』特別賞」を受賞することとなりました。

携帯型放送装置は、増加する訪日外国人のお客様への案内サービスの向上と車内放送の品質向上を目指して開発、導入したもので、列車内の案内放送を 4 か国語で行うための装置です。

外国人のお客様に安心して鉄道をご利用いただける環境を整えたことと、車両工事が最小限で済むことから比較的 low コストでかつ短期間に導入することができ、他の鉄道への広がりも期待できることが高く評価されたもので、当社が同賞を受賞するのは初めてとなります。

詳細は別紙のとおりです。



【携帯型放送装置】



【使用状況】



【操作画面(例)】

別紙

1. 受賞内容および理由

(1) 受賞した賞

第15回日本鉄道賞

日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞 「安心インバウンド対応」特別賞

(2) 受賞内容

「携帯型放送装置による車内放送の多言語対応

～すべてのお客様に安心してご利用いただくために～

(3) 受賞理由

訪日外国人 2000 万人時代を迎えるなか、業務用タブレット端末を利用して、車内放送を日英中韓の4か国語で実施するシステムを導入し、外国人のお客様に安心してご利用いただける環境を整えたこと、また、車両工事が最小限で済むため比較的低コストで短期間に導入することができ、今後、他の鉄道への広がりも期待できることが高く評価され、「安心インバウンド対応」特別賞を受賞することとなりました。

2. 表彰式

(1) 日時 平成 28 年 10 月 14 日（金） 18 時 15 分から

(2) 場所 セルリアンタワー東急ホテル（東京都渋谷区）

※ 第 23 回「鉄道の日」記念祝賀会において表彰予定

3. 携帯型放送装置による車内放送の概要

携帯型放送装置は、増加する訪日外国人のお客様への案内サービスの向上と放送品質の向上を目的に開発、導入した列車内の案内放送を行うための装置です。

車掌が携帯するタブレット端末を車両の放送装置に接続し、列車の系統ごとに順次表示される画面のタイトルをタッチして放送を行います。日本語、英語（必要に応じて中国語、韓国語を含めた4か国語）で、列車種別、行先、次駅案内、乗換案内のほか、観光・イベント情報などのスポット放送を行います。また放送文は、随時追加、編集が可能です。

この装置は、当社のグループ会社である近鉄車両エンジニアリング株式会社と共同開発したもので、平成 28 年 3 月に全特急列車および奈良、京都、橿原、天理線で運行する一般列車で運用を開始しました。平成 29 年 3 月には、大阪線、南大阪線、名古屋線系統の一般列車にも展開する予定です。

【参考】

1. 「日本鉄道賞」について

「鉄道の日」創設の趣旨である鉄道に対する国民の理解と関心を深め、国民の強力な支持を得るとともに、鉄道の一層の発展を期することを目的として、平成 14 年に創設された表彰制度です。

2. 「鉄道の日」について

明治 5 年(1872 年)10 月 14 日に新橋―横浜間に国内最初の鉄道が開通したことを記念して 10 月 14 日を「鉄道の日」と定められました。

以上